



No.21 (通No.100) 2020年2月4日

てつがく なかにわ リーズレター 哲樂の中庭 2020年立春

日常に〈てつがく〉…みてきて、感じ考えて、まとめて、伝えてみる試み

未来から現在をみる境地

『女性チャレンジ応援拠点』

2017年1月26日にクレオ大阪中央館4階一室に開設された大阪市の『女性チャレンジ応援拠点』。予約なしでふらっと立ち寄り、フランクに相談できて、居合わせた他の利用者とも交流できる場。当初週一回担当。

この1月に3周年を迎えて、2月1日(土)に記念イベント『トークセッション & つながる交流会』。トークセッションのゲストは常連利用者の〈拠点女子〉たち。ハツラツとしたスピーチと応答にほおー。自分の道がみえた人はつよい。凛として、ひと目にも清々しい!

Book 『大衆の強奪』

まだ序しか読んでいませんが、著者は心理学者、「1940年英語版は、メディア研究・コミュニケーション理論・集団心理学などの基本参考文献として広く認知されている」という初邦全訳の本。

出版社からのML紹介文を読んで、“これは今の時代を読み解くヒントになる…”と、すぐに購入。序の部分だけでも先に期待が持てました。さて、読み終えた時、何を思うでしょうか。



LEE'S (リーズ)

〒530-0012

大阪市北区芝田2丁目8-15
北梅田ビル35号

リー・ヤマネ・清実

Lee Yamane Kiyomi

『旧暦のお正月って毎年ちがうんですか?』。そう、新暦ではそうなり、今年は1月25日(土)でした。ちなみに来年は2月12日(金)になります。

「冬至」は日がいちばん短いといいますが、大阪では日の入り時間は12月中旬に反転し、日の出時間は年明け1月中旬に反転し、1月下旬には“ああ、日が長くなり始めたなあ…”と気づく。そのタイミングで「立春」を迎えます。

『年末に開業届を出そうと思うんですけど…』。年末の理由は何かと相談者に尋ねると、「特に理由はありませんけど、早い方がいいかと思って」。

こういう場合には、『それなら年が明けて、立春を迎える頃がいいんじゃないですか』と話します。日ものび始めますが、なにより、陽の光がちがってくる。明るさと力強さが出てきます。風はまだキリリとして、でも陽の温かい感じがして、

緊張感をもちつつ、「門出」・「船出」を祝う陽気が出てきますから。

『えっ、100年分をつくってあるんですか?』。仕事と人生を俯瞰するために2003年につくった横長のフォーマットがあります(『略系表』)。象徴的な出来事、出会い、学びを、0才から100才までの道のりを簡潔に見えるようにしたものです。2005年に仕事で使った時、『これはいい!』と経営者の方から言っていたので、今は仕事の大事なツールになっていますが、さすがに年数は半分になっています。

季節や時間と人生。常に一体のこれらを俯瞰していると、しだいに、未来から現在をみるような感覚になります。すると、良いことにあまり舞い上がらず、わるいことにさほど落胆せず、少し引いて、“なるほど、そうきたか”と、考えられる。平常心ながら闘争心のわく境地です。

| 見聞感考 | 「人生100年」超えのファイナンシャルプラン

昨年末に一代で会社を大きく育てた創業者の方と少しお話する機会がありました。年齢は95才、今も株投資に熱心で、今後10年のファイナンシャルプランもしっかり立ててあるとか。

年長の方にはいつも必ず質問することがあります。「長く生きてこられて、今あらためて想うこと、人生は結局こういうものだなあ…といった、ご自身なりの答といったものは、何でしょうか?」。

個人的な興味からの質問です。人間いきっていく上で、何かしら普遍的な答がありそうだし、自分自身、人生の終盤

に何を想うだろう、今の段階での自分の答えと、どう違うだろう、自分もいずれそう考えるようになるのだろうか。

『…、ないなあ、ない』。返ってきた答えはそういうことでした。95才の方にそれ以上ツッコむことはできません。

たぶん、ないことも無いのではないかと思います。長く生きているという感覚自体があまりないのかもしれない。常に現在、年齢的には十分「お年寄り」ですが、その範疇に自分はいっていないのでしょう。10年先までのファイナンシャルプラン、さすがです。